

My City Kawaguchi マイシティかわぐち



7/ 3(水)～7(日)

第58回川口七夕まつり

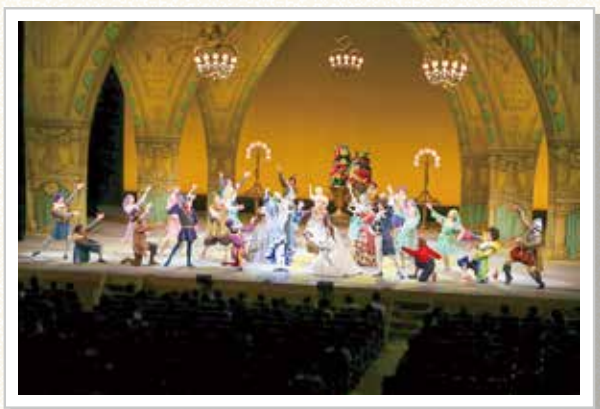
7月3日～7日にふじの市商店街で開催。多くのかたがバリエーション豊かな七夕飾りを楽しみました。



6/ 29(土)～7/ 3(水)

田口八重子さん写真展

中央図書館で開催。昭和53年6月29日に田口八重子さんが北朝鮮に拉致されてから41年となり、貴重な写真などの展示で拉致問題の早期解決を訴えました。



7/ 10(水)

こころの劇場

市内の小学5年生がリリアに招待され、芸術鑑賞教室が行われました。子どもたちは劇団四季ミュージカル『はだかの王様』を観劇し、本当のことを伝える大切さを学びました。



7/ 13(土)～21(日)

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2019

デジタルで撮影・制作された作品の映画祭で、世界92の国と地域から応募のあった861作品の中から、よりすぐられた映像作品を上映。オープニングセレモニーでは、オープニング作品「イソップの思うツボ」の3監督と出演者が登壇し、会場を盛り上げました。



みんなでつくる 川口の元気

vol.58

みなさん、こんにちは。

川口市では、現在、新庁舎の建設を進めており、来年3月に竣工し、5月には開庁する予定です。今回は、この新たな市の顔に彩りを添えてくれる絵画についてお話します。

作品は川口市の新しいシンボルとして、過去と現在とをつなぎ、明るい未来を予感させるというコンセプトで11枚のキャンバスに描かれます。

これらの絵画を制作してもらっているのが、生まれも育ちも川口市の宇田川 格さん、設楽 俊さん、吉住 裕美さんの3名の若手洋画家です。いずれも市内のアトリエで制作活動を行い、今や次代を担う若手として注目されています。先日、そのアトリエを訪ねて絵画制作の現場を見学してきました。

宇田川さんは、どこか懐かしい情景や日常のひとつコマを切り取って、川口で暮らす人々の人生や世代を超えたつながりなどを表現しているそうです。

設楽さんは、昔から親しんできた川口の風景や施設、行事などを描き、多くの市民が共感を抱くと同時に、鮮やかな色調が元気を与えてくれる作品にしているそうです。

吉住さんは、柔らかいタッチで川口の自然や人々の日々の営みを描き、観る人に心地よさや幸福感を与えることをイメージしているそうです。

まだ制作途中ですが、どの作品も新庁舎を訪れるかたやそこで働く職員など、観る人に元気を与えてくれる作品に仕上がるものと期待しています。

私はこれまで、子育てや教育、福祉、経済など様々な政策に力を注いできましたが、人口が60万人を超え中核市となった今、この川口にふさわしい文化芸術の振興が必要だと感じています。そのために、今後も若い才能を応援していきますので、みなさんも、ぜひ新庁舎にこれらの絵画を観に来てください。

そして、一緒に川口を文化と芸術の薫るまちにしていきたいと思います。



川口の若き才能がキャンバスに込める故郷への想い

川口市長 奥ノ本信夫



7/7(日)

リアの日

「ふれあい のりものフェスタ川口」

リアで開催。パトカー、白バイ、消防車などさまざまな乗り物が大集合し、多くの来場者でにぎわいました。



7/20(土)

かわぐち環境フェスタ2019
プラスチックスマートフェスタ

リサイクルプラザで開催。来場者はワークショップや工作など参加体験型のイベントを通じて、楽しみながら環境への理解を深めました。

市広報番組「ふれあい川口」

J:COM川口・戸田/J:COM埼玉東 8月5日～11日
(月～金曜日12:00～12:30、土・日曜日9:00～9:30)
市ホームページ 8月5日～